

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ
Network
Now

2025
No.593
5/1

JART情報
<https://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519



2024年度 第6回理事会 開催される (Web併催) 同時開催: 新たな注射行為に対する研修 (ワクチン筋注研修)

2025年2月22日(土)午後2時より、2024年度第6回理事会が三田国際ビル会議室でWeb会議システムを併用して開催されました。冒頭、上田会長からあいさつがあり、2月12日に原子力災害対策指針に基づく原子力災害医療協力機関に指定されたこと、X線発見130周年記念式典の中止が決定したこと、生殖腺防護鉛シールド使用廃止声明を関連4団体で発信すること、診療放射線技師国家試験が新しいカリキュラムで実施され、タスク・シフト/シェアガイドラインから出題されたことなどが述べられました。

理事会の主な議題は、「職員給与の検討・職員給与規程改正」「令和7年度事業計画(案)」「令和7年度予算計画(案)」「役員の増員」でした。

職員給与の検討については、鈴木外部理事から事務職員、事務局長、常勤役員報酬改定について検討内容の報告がありました。2016年以降は人事院勧告に沿った改定が行われておらず定期昇給のみとなっていて、地域手当も加味されていないことから、国の基準からの乖離が大きくなっているとの説明がありました。

職員給与規程改正については、上田会長から検討会が答申した事務職員給与・常勤役員報酬検討案に基づいて説明がありました。事務局員給与については、国家公務員給与表を基本とした提案があり、事務局長給与は世の中の水準に相応しておらず、業績・能力が加味されないことや、現在、規程がなく定期昇給も行われないため、2025年度からの変更が予定されていると説明がありました。常勤役員報酬改定については、今後の財務状況に見合った金額が必要であると答申内容の説明がありましたが、会員に対して説明して理解を得ることが重要であり、今回の総会提案は見送り2026年6月開催の定時総会で提案を検討することとなりました。給与などについては、審議の結果、全会一致で承認されました。

令和7年度事業計画(案)については、上田会長から2023

年7月に制定したJART Vision2040に沿った目標を鑑み、主な事業計画項目の詳細な説明がありました(1.タスク・シフト/シェアの推進 2.政策要望における地区・地域との情報共有 3.第41回日本診療放射線技師学術大会の開催 4.国際事業を通じた会員育成とISRRT等活動への協力 5.医療情報システムの安全管理と医療DXの推進 6.甲状腺簡易測定研修事業の支援 7.委員会・分科会改編による組織強化 8.災害時に対応できるシステムづくりと人材育成 9.予防医療分野への取り組み 10.生殖腺防護鉛シールド使用廃止の啓発——など)。

続いて園田理事から、令和7年度事業計画(案)について令和6年度事業と対比した表を用いて説明がありました。審議の結果、全会一致で承認されました。

令和7年度予算計画(案)については、江端業務執行理事から2025年4月に施行される公益法人法の改正に伴った説明がありました。主な変更点としては、公益充実資金が計上できること、遊休財産の取り扱いの変更によって保有財産の保有限度額を超えた保有が可能になり、これに伴って公益充実資金の活用ができるようになることが挙げられました。

続いて職員給与改定も踏まえた正味財産増減予算書、収支実績表の変更項目の詳細な説明があり、審議の結果、全会一致で承認されました。

役員の増員については、園田理事から理由の説明がありました。役員不足により、役員以外の方が委員会の委員長を担当していたり、執行役員が委員長を務める委員会があり負担になっている状況や、地区(診療)放射線技師会との連携を強化し、All Japanとしての活動を通じて組織強化を進める必要があることについて説明されました。そこで全国理事の定数を現状の11人以上14人以内から19人以上22人以内とする提案があり、審議の結果、全会一致で承認され、定時総会審議事項となりました。

その他の議題としては、委員会の委員追加、会費免除申請、認定資格制度に関する規程等の改正、旅費規程改正、2024年度表彰候補者、学術優秀賞、学術研究助成金、厚労科研費大西班「IMRT普及に向けた施設要件について」のJART案、会員カード・認定資格カードの廃止、入会者・退会者・会費免除の承認、定時総会の日程などが審議され、いずれも全会一致で承認されました。

報告事項として、堀住事務局長から会員動向について説明があり、1月末の時点で会員数が34,270人、組織率は60.3%になったとの報告がありました。中村監事からは、入会手続きの簡素化や、技師格登録年度の入会は年会費が無料になることを、フレッシューズセミナーなどでしっかり広報していただきたいとの意見がありました。他に各地域理事、各種委員会・分科会から38項目の報告がなされ、資料と共に共有されました。

最後に、園田理事より今後のスケジュールが確認され、本理事会は終了しました。詳細は、本会会誌(第5号)掲載の2024年度第6回理事会議事録(抄)をご参照ください。

理事会終了後、同会議室で新たな注射行為に対する研修



(以下、ワクチン筋注研修)[オンデマンド研修および実技研修]事業の説明ならびにオンデマンド研修を修了した理事・役員に対して実技研修が行われました。今回の実技研修会で出てきた修正すべき点を踏まえて、2025年度に全国で展開できるように、ファントムの修正とシステムの構築、要項の修正・変更を進めていくとのことで、その第1回は福井県で開催される第41回日本診療放射線技師学術大会を考えているとの報告もありました。ワクチン筋注研修はオンデマンド研修(動画視聴)と実技研修からなり、会員は無料で研修を受けられるようにすることも本理事会で併せて報告されました(非会員は5,000円)。

第58回中华民国医事放射学会(TWSRT) 開催される

2025年3月15日(土)から16日(日)まで、台湾の台中市中山医科大学で第58回中华民国医事放射学会(TWSRT)が「The Implementation of AI in Medical Imaging and ESG Sustainable Development」をテーマに開催されました。

日本からは、本会から上田会長が、TWSRTと交流締結している日本放射線技術学会(JSRT)からは岩永秀幸国際戦略委員長が参加しました。上田会長は学会で「日本における医療用AIソフトウェアの承認プロセスの展望」について講演を行い、各国から高い関心を集めました。また台湾の放射線技術師資格は更新制度のため、本大会には多くの現職放射線技術師が参加しており、ポイント申請に長蛇の列ができていました。

また今後のEACRTの開催については、第32回EACRT(2025年)は韓国、第33回EACRT(2026年)

は日本で開催されることになりました。第33回EACRTは、2026(令和8)年9月11日(金)から13日(日)まで山形県で開催される第42回日本診療放射線技師学術大会と併催されるため、多くの会員の皆さまの参加をお願い致します。



第77回診療放射線技師国家試験問題の分析結果

診療放射線技師国家試験問題評価委員会は、2025年2月20日(木)に実施された第77回診療放射線技師国家試験(以下、本試験)を評価することを目的として、委員会会議を2025年2月25日(火)に開催しました。本試験が診療放射線技師の基本的知識を適切に判断する内容であるかを検討し、その結果を踏まえて、本会から答申書を厚生労働省医政局医事課試験免許室に提出しました。

なお、厚生労働省のホームページによると、本試験の合格者は受験者数3,729人に対し合格者3,159人で、合格率は84.7%でした。

診療放射線技師国家試験問題評価委員会 構成員(順不同)

○武藤 裕衣、木暮 陽介、鈴木 正広、奥田 圭二、西澤 徹

以下、検討結果を示します。

1. 総 評

本試験は、多くの至適問題が見受けられ、妥当性・信頼性が高く一定の評価を認める。また本試験では、診療放射線技師の業務において実際の臨床現場を設定した設問や、STAT画像報告ガイドラインに関する出題があり、良い傾向と考える。

加えて本試験は、1問当たりの文章量が多く、専門知識とともに読解力を必要とする設問についても、設問や選択肢について十分に校閲をされていると認められる。

診療放射線技師の業務範囲は拡大しているため、本試験の問題数が200問では現行のカリキュラムや診療放射線技師の臨床業務、将来のタスク・シフト/シェアを反映させることは非常に難しいことから、問題数の増加が必要であると考えます。

2. 今後のより良い診療放射線技師国家試験のための提案

- 診療放射線技師を取り巻く状況の変化および実態を踏まえ、診療放射線技師として必要な基本的な事項から出題することに、引き続き留意する必要があると考える。
- 選択肢が長文となる場合、文脈により異なる解釈が可能とならないよう留意する必要があると考える。
- 低侵襲性手術の普及に伴う3次元画像(手術支援3次元画像)に関する出題や、STAT画像所見に関する出題数の増加が必要と考える。
- 「エックス線撮影機器学」や「エックス線撮影技術学」は、多くの診療放射線技師が単純X線撮影、ポータブル撮影、マンモグラフィー、骨塩定量検査、X線TV検査、血管造影検査、X線CT検査に従事しているにもかかわらず、「診療画像検査学」のMRI検査、超音波検査、眼底カメラ検査に比べ問題数が少ないと考えられ、構成上、出題数の増加が必要と考える。
- 現状の診療放射線技師の業務などを診療放射線技師国家試験の問題に反映しやすくするため、構成する試験委員について、診療放射線技師の資格を有した試験委員の増員が必要と考える。

3. 本試験に関する評価

午前40 4・5の複数解と考える。

4. その他の事項について

- 試験開始前の説明や電子機器等の取り扱いについて統一的に実施されるようになり、公平性・公正性を確保した上で適切に実施されていた。

「股関節撮影時の生殖腺遮蔽の見直し」 についての共同声明と「小児股関節の 生殖腺シールド廃止のポスター」について

平素より本会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

このたび、日本医学放射線学会、日本放射線科専門医会・医会、日本放射線技術学会、日本診療放射線技師会の4団体により、「股関節撮影時の生殖腺遮蔽の見直し」に関する共同声明を作成し、公開することとなりました。

また「小児股関節の生殖腺シールド廃止」に関するポスターを作成致しました。各施設での掲示や活用にご協力いただけますと幸いです。何とぞよろしくお願い申し上げます。

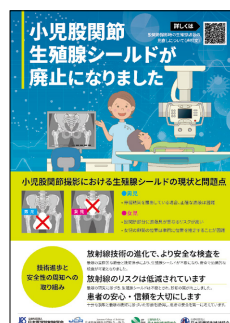
共同声明文：

<https://www.jart.jp/docs/20250404%E3%80%80生殖腺シールド声明文.pdf>



小児股関節の生殖腺シールド廃止ポスター：

<https://www.jart.jp/docs/小児股関節の生殖腺シールド廃止ポスター.pdf>



INFORMATION

2024年度 第2回JART-JSRT懇談会 開催される (ハイブリッド開催)

2025年2月3日(月)午後3時より、本会(JART)と日本放射線技術学会(JSRT)との2024年度第2回懇談会が開催されました。この懇談会は年に2回、JSRTとJARTが相互の事業について情報共有や連携に関して意見交換を行う場として定期的に開催しており、これまで毎年、冬期はJART主催で東京都内で開催されています。

本会からは上田克彦会長、富田博信副会長*、児玉直樹副会長、江藤芳浩副会長*、江端清和業務執行理事、園田優理事(総務担当)、川守田龍理事(学術担当)*、堀住雄策事務局長の8人が、JSRTからは石田隆行代表理事、奥田保男副代表理事、根岸徹副代表理事、市田隆雄副代表理事、松原孝祐理事(学術担当)、谷畑誠司理事(大会開催担当)、望月純二広報・渉外委員長、錦成郎事務局長の8人が参加し、対面とWebでハイブリッド開催されました(*:Web参加)。

今回の会議は、JART事務局が新事務所に移転して初めての外部との会議となりました。初めに会議主催側として上田会長のあいさつ、その後、石田代表理事のあいさつがあり、引き

続きJSRT・JARTそれぞれの報告がありました。JSRTからは年度末ということもあり、本年度の活動の総括と新理事体制に移行しての報告、沖縄大会の領収書と会計について報告がありました。続いてJARTからは、事業総括、政策要望書、ECR活動、第41回日本診療放射線技師学術大会開催について、認定資格・認定診療放射線技師制度の見直し、ITEMへのブース出展、災害活動登録制度の開始、告示研修の実施状況、新たな注射行為に対する研修(ワクチン筋注研修)、甲状腺簡易測定研修の開始などについて数多くの報告が行われ、情報の共有が図られました。また共通の議題として、今後、積極的に広報することとして、小児の生殖腺防護シールド廃止に関する話題と、第1回日本放射線医療技術学術大会の開催後のアンケート報告についても、積極的な意見交換が行われました。

今後も定期的に懇談の場を活用して相互の発展につながるよう協力していくこととし、次回は本年夏ごろをめどにJSRT主催で2025年度第1回懇談会開催を予定しています。

(文責:江端 清和)

2024年度 第2回JART-JIRA懇談会 開催される (ハイブリッド開催)

2025年2月17日(月)午後4時より、本会(JART)と日本画像医療システム工業会(JIRA)との2024年度第2回懇談会が、日本橋ライフサイエンスビルで開催されました。この懇談会は年に2回、JIRAとJARTが相互の事業について情報共有や連携に関して意見交換を行う場として定期的に開催しており、これまで毎年、冬期はJIRA主催で開催されています。

本会からは上田克彦会長、富田博信副会長*、児玉直樹副会長、江藤芳浩副会長*、江端清和業務執行理事、園田優理事(総務担当)、堀住雄策事務局長の7人が、JIRAからは瀧口登志夫会長、稲葉潔専務理事、須賀秀徳経済部会部会長、鍵谷昭典経済部会副会長、松尾秀隆法規・安全部会部会長、大塚正明事務局長の6人が参加し、対面とWebでハイブリッド開催されました(*:Web参加)。

初めに主催側として瀧口会長よりごあいさつがあり、続いて上田会長のあいさつがありました。引き続きJARTからの報告事項として、昨年末に提出した6項目の政策要望の説明から始まり、第41回日本診療放射線技師学術大会開催への協力のお願いと現状の報告、新たな注射行為に対する研修(ワクチン筋注研修)の紹介、原子力災害発生時の甲状腺簡易モニタリング研修の概要紹介、国際医用画像総合展(ITEM)へのブース設置についての配慮へのお礼を述べた後、来年度事業計画の概要について紹介させていただきました。

JIRAからは、最近のJIRA活動状況の紹介、経済部会の取り組みと最近のトピックス、法規・安全部会から最近の医療機器規制の動向についての検討状況や課題などが報告されました。JIRAとしては、新たな技術開発が診療報酬制度によってどのように反映できるのかを真剣に検討し、諸課題についてJARTとの情報共有を図っていききたいと結ばれました。

その後の質疑応答では、本邦への初のCT装置設置から50周年に当たることや、X線発見130周年に当たることなどについて意見交換がありました。

昨年6月より、JART PlusのコンテンツとしてJIRA教育用セミナーVODが公開されていることの紹介と、現在の視聴状況についてもご報告いただきました。JIRAコンテンツの視聴者がここ数カ月で大きく伸びており、視聴完了者も多く出ているとのことでした。JARTからは、JART Plusの積極的な活用・視聴を今後も広報していくことが報告されました。

4月10日(木)から13日(日)まで開催されたITEMでは、多くの方にブースにお立ち寄りいただきありがとうございました。今後も継続して出展する計画です。ITEMでもJART活動の紹介と会員勧誘に努めてまいります。

次回は本年夏から秋ごろをめどに、JART主催で2025年度第1回懇談会を開催する予定です。

(文責:江端 清和)

2024年度 第6回チーム医療推進学会 開催される(Web開催)

2025年2月23日(日・祝)午前10時から午後4時30分まで、第6回チーム医療推進学会がWebで開催されました。大会は、主催者としてチーム医療推進協議会代表のJART上田会長のあいさつに始まり、大会長である日本医療ソーシャルワーカー協会 野口百香会長のあいさつが続きました。

今回の学会テーマは「チーム医療で行う意思決定支援と連携」とされ、特別講演を神野正博先生(全日本病院協会副会長・恵寿総合病院理事長)が、基調講演を会田薫子先生(東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター上廣講座特任教授)がご担当されました。神野先生は、2024年1月に発生した能登半島地震の際に自院が被災され、大混乱の中で組織としての意思決定をどのように進めてこられたかなど、ご経験について大変興味深くお話しいただき、示唆に富んだ内容を伺うことができました。

今回の学会も例年同様、オンラインおよびオンデマンド配信形式で、一般演題発表では実践報告、事例報告、現場での取り組み、日頃の成果など、チーム医療推進学会らしく多方面・多職種からの発表が行われました。

シンポジウムではテーマに沿って4人のシンポジストが登壇しましたが、本会から小林聖子理事(函館五稜郭病院)が

「チーム医療で行う意思決定支援と連携ー診療放射線技師としてー」と題して発表しました。内容は、2015年6月に厚生労働省が示した提言書「保健医療2035」の紹介から、患者中心の発想へのシフトについて各種資料も交えて講演しました。患者経験価値(Patient Experience: 以下、PX)という概念が注目されている中、患者の経験を可視化し、最適化するための質指標として活用されていることが紹介されました。患者視点での医療の質指標であるPXに焦点を当て、患者が前向きに意思決定できるよう、本会の検査説明委員会における各種検査説明用の動画公開と、多言語化も交えた取り組みについても併せて紹介しました。

また一般演題発表セッション1では、本会の兄玉直樹副会長(チーム医療推進協議会 理事)が座長を務めました。

学会は盛会のうちに終了し、最後に、2025年度の第7回チーム医療推進学会は来年の同時期に、日本臨床衛生検査技師会が大会長を引き受けて企画することが発表されました。来年も診療放射線技師からシンポジストや演題発表者が出ることを期待しています。

本学会を視聴された会員各位は、明日からの業務に役立つ内容だったのではないのでしょうか。(文責:江端 清和)

2024年度 第3回(第56回)放射線取扱主任者 定期講習 開催される

2025年2月21日(金)、2024年度第3回(第56回)放射線取扱主任者定期講習が三田国際ビル会議室で開催されました。毎年度3回予定され、その3回目の講習会となります。

本講習会は、放射性同位元素等の規制に関する法律(以下、RI法)に基づき、原子力規制委員会の登録を受けた公益社団法人日本診療放射線技師会が行う放射線取扱主任者定期講習であり、RI法第34条に規定する放射線取扱主任者(ただし、許可廃棄業者は除く)、および本講習会に関心のある方など、全国から25人の方々が受講されました。

講習会の内容は、午前に株式会社千代田テクノルの遠藤正志先生より「法に関する課目」および「放射性同位元素又は放射線発生装置の取り扱いに係る事故が発生した場合の対応に関する課目」の講義が行われました。放射線規制室の変遷・手続き・法令改正・立入検査・事故事例などの項目を、詳細に解説していただきました。午後には上尾中央総合病院の筑間晃比古先生による「放射性同位元素等又は放射線発生装置の取り扱い及び使用施設等又は廃棄物詰替施設等の安全管理に関する課目」の講義が行われました。最近、改正された測定信頼性の確保の項目が重要であり、運用・管理を解説し



ていただきました。

最後に、筑間先生と本会の主任者定期講習運営委員会の北村委員、谷委員、青木委員と野口が講師を務め、放射線管理について困っていること、運用・管理の方法などについて、会場の受講者とディスカッションを行いました。さまざまな話題が挙げられ、盛会のうちに閉会しました。

(主任者定期講習運営委員会 委員長 野口 幸作)

2024年度 診療放射線技師基礎講習(会場型) 基礎技術コース「血管造影検査」開催報告

公益社団法人岐阜県診療放射線技師会
理事 宮崎 勇輔

会場型の雰囲気を味わって

2025年2月24日(月・振休)、岐阜県岐阜市の「じゅうろくプラザ」で診療放射線技師基礎講習(会場型)基礎技術コース「血管造影検査」が開催されました。

近年、e-ラーニングによる講習が主流となる中、本講習は会場型で実施され、定員50人に対し41人が参加を申し込み、当日は36人の受講者が集まりました。3連休の最終日で天候にも恵まれた中、ご参加いただいた皆さまには、少しでも技術向上の機会としていただけるよう努めました。

講習開始前はどのような雰囲気になるか不安もありましたが、いざ始まると受講者の皆さまは講師の話に真剣に耳を傾



写真1 講義の様子

け、熱心にメモを取る姿が見受けられました(写真1)。また講師の先生方も知識の定着を考慮し、工夫を凝らした講義を行ってくださったことで、受講者の皆さまにも満足いただけたように感じます(図1)。

e-ラーニングの普及が進む中ですが、会場型講習ならではの独特な雰囲気や、学びの達成感を味わえる貴重な機会となりました。受講者の皆さまは、「患者さんのため」「医療の発展のため」という思いを持って本講習に臨まれたことと思います。われわれ診療放射線技師は、患者さんがいるからこそ活躍できる職種です。今後も、このように技術向上の機会が増えていくことを願っております。

最後に、基礎講習にご参加いただいた皆さま、そしてご指導くださった講師の先生方に、心より感謝申し上げます。皆さまのご活躍をお祈りし、開催報告とさせていただきます。

問1. 講義全体の満足度
19件の回答

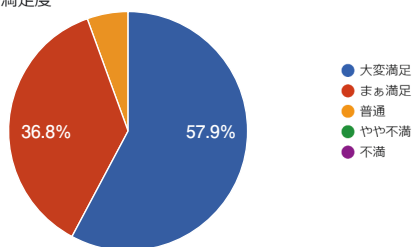


図1 受講者の満足度

2025年度 日本診療放射線技師会奨学生の募集について

INFORMATION

本会教育奨励金貸付規程にのっとり、2025年度日本診療放射線技師会奨学生を、以下の通り募集します。

- 募集人数：2人
- 応募期間：2025年5月1日(木)から6月20日(金)まで(必着)
- 貸付金の金額：500,000円(1人当たり。貸付額は一括振込み)
- 貸付期間：大学院に在学する期間で、認定された年度から在籍している年度まで
- 申込資格：診療放射線技師としてさらなる知識と技術を習得するため、大学院に入学している者で、他機関の奨学金を受けていない者
- 提出書類：次の書類を本会事務局に提出すること
(1) 奨励金貸付申請書 (2) 履歴書(写真添付) (3) 前年度収入証明書 (4) 入学証明書 (5) 住民票
- 申請手続き：本会ホームページより奨励金貸付申請書をダウンロードし、提出書類一式を送付してください。
- 返済：承認された奨励金は、卒業後1年経過した後、5年以内の返済計画を提出していただきます。
詳細はホームページより教育奨励金貸付規程をご確認ください。
- 申請書送付先・お問い合わせ先：〒108-0073 東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル22階
公益社団法人日本診療放射線技師会 奨学生募集係

レントゲン週間 イベント開催される



本会では、1895年11月8日のW.C. レントゲン博士によるX線発見を記念し、毎年11月2日～11月8日の一週間を『レントゲン週間』と制定しています。

この『レントゲン週間』にちなみ、放射線の専門家として正しい知識を国民に伝えるとともに、私たちの仕事を知っていただくためのイベントとして、本年度も各県（診療）放射線技師会の協力を得て、各地でさまざまなイベントが開催されました。



TOKYO

OTA ふれあいフェスタ 2024

■ 日 時：2024年11月2日（土）・3日（日・祝）

■ 開催場所：平和の森公園

■ 参加者：運営5人、会員27人、一般483人

乳腺ファントムしこり体験と骨密度（超音波）測定、結果説明、被ばく相談を行いました。2日間で骨密度は218人を測定し、乳腺ファントムしこり体験は265人の方にご体験いただきました。

（東京都診療放射線技師会 理事 江積 孝之）



MIE

レントゲン祭

■ 日 時：2025年1月25日（土）

■ 開催場所：三重大学医学部附属病院 臨床講義棟

■ 参加者：運営18人、会員73人、一般5人

2025年1月25日（土）午後1時より、三重大学医学部附属病院 臨床講義棟でレントゲン祭を開催致しました。当日は、第8回三重県診療放射線技師学術大会を併せて開催しました。

本事業は、X線を発見されたレントゲン博士の偉大な遺徳をしのび、県技師会として、放射線技術の発展と社会への貢献に向けて決意を新たにすることを目的として企画・開催されました。

レントゲン祭の内容を紹介します。山田副会長による式辞に始まり、武藤会長がレントゲン博士のご功績を読み上げお祈り致しました。次いで、武藤会長より献花が行われ、最後に参加者全員でレントゲン博士の偉業に対する感謝を込めて黙とうを捧げました。

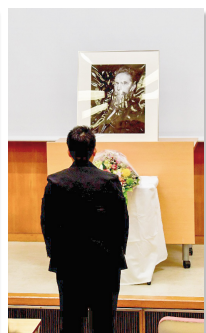
（一社）三重県診療放射線技師会は1951（昭和26）年に五十余人で設立されて以来、これまで諸先輩方が診療放射線技師の資質向上と、会員の交流に力を尽くしてこられました。現在の三重県診療放射線技師会の会員数は600人を超えました。本会では、特に本年度からは、若手の診療放射線技師の皆さまがより参加しや

すい技師会を目指して活動しています。今回のレントゲン祭には、初めて参加した会員がとても多かったと思われました。会場からは「改めてレントゲン博士の偉大さを感じた。技師として身が引き締まった」との感想が聞かれました。

今後もレントゲン祭を県技師会定期事業として開催し、社会貢献につながる活動を進めてまいります。

最後に、JART 上田会長をはじめ役員の皆さま、諸先輩方をはじめとする県役員の皆さま、会員の皆さま、ならびに式典準備に関わっていただきましたスタッフをはじめとする全ての皆さまに改めて感謝を申し上げ、開催報告とさせていただきます。

（三重県診療放射線技師会 会長 武藤 裕衣）



当日の様子

INFORMATION

第6回

第41回日本診療放射線技師学術大会

福井への道 Go To FUKUI

田泉 智明

(公益社団法人福井県診療放射線技師会 理事)

れいなん

嶺南のご紹介

福井への道、第6回は福井県の南部エリアである嶺南についてご紹介致します。

嶺南とは、北陸新幹線終点の敦賀駅がある敦賀市とその西にある美浜町、若狭町、小浜市、おおい町、高浜町の、2市4町からなる地域を指します。海に山に湖にと、自然に恵まれた地域です。まずは敦賀駅に降り立ったところから紹介していきましょう。

新幹線敦賀駅とハピラインふくいの敦賀駅はつながっており1駅です。新幹線の駅自体は、高さ約37mの駅舎が国内最大規模の整備新幹線駅舎として“要塞”と表現され、一見の価値があります。その西口(まちなみ口)を出るとシンボルロードと呼ばれる駅前商店街が続きます。アーケード沿いに歩いていくと『宇宙戦艦ヤマト』と『銀河鉄道999』の銅像が計28体設置されており、そのクオリティは高く、両作品のファンの方にはたまらないフォトスポットです。アーケード街を1.2kmほど歩いていくと日本三大鳥居がある気比(けひ)神宮にたどり着きます。春日大社、厳島神社とはまた違う趣があります。そこから2.4kmほど進むと国指定名勝で日本三大松原がある気比の松原に至ります。長さ約1.5kmにわたり松原と砂浜が続いている景観は圧巻です。徒歩ではやや遠いため、レンタサイクルなどがおすすめです。

敦賀市には他にも、朝のテレビ番組「ZIP」で北陸のハワイと紹介された水島や、「マツコの知らない世界」で紹介された旧北陸本線のトンネル群などがあります。水島へは、海水浴期間中に毎日運行している渡し舟に乗って渡ることができます。トンネル群は、明治期に造られた鉄道用のトンネルが、100年以上たった今でも道路用の現役トンネルとして使用されており、蒸気機関車のすすの付いた煉瓦がタイムトラベルをしたような感覚にさせてくれます。この2カ所は敦賀駅から10kmほどありますので、レンタカーなどがおすすめです。

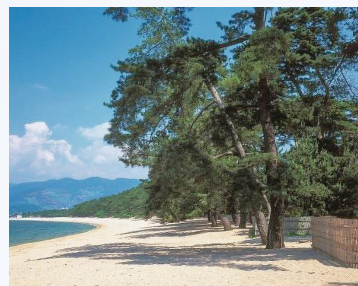
続いてはお隣の美浜町と若狭町。ここは何とんでも三方五湖(みかたごこ)と、その三方五湖を見下ろすことができるレインボーライン山頂公園がおすすめです。車で有料ドライブコースのレインボーラインを上り、最後にリフトやケーブルカーで山頂公園へ。三方五湖と若狭湾と山並みを見下ろすことができる絶景は、時間を忘れて見入ってしまいます。冬であれば足湯がおすすめ。三方五湖には湖周にサイクリングコースが整備されており、湖面とほぼ同じ高さのコースをサイクリングするのは、湖や風、鳥の声をダイナミックに感じることができ、とても気持ちがいいものです(私はよく利用しています)。山頂公園までは敦賀駅から車で約40分、美浜駅から約15分かかりますので、レンタカーなどがおすすめです。

嶺南は大部分が海沿いであり、美浜町の水晶浜などに代表される美しいビーチが数多くあります。高浜町にはブルーフラッグ*を日本初、アジア初で取得した若狭和田海岸もあり、海水浴シーズンにも足を運んでいただけると嬉しいです。ぜひ、福井県を満喫してください。

*ブルーフラッグ: 国際 NGO FEE (国際環境教育基金) が実施するビーチ、マリーナ、観光船舶を対象とした国際環境認証



気比神宮



気比の松原



水島



レインボーライン山頂公園からの眺め



第41回

The 41st Japan Conference of Radiological Technologists
日本診療放射線技師学術大会放射線技術の
イノベーション〜期待される診療放射線技師の
役割に応えよう〜2025.
9/12(金)▶14(日)会場 福井駅前
AOSSA、ハピリン他

[現地＋オンデマンド配信]

<https://www.kwcs.jp/jcrt41/>会長 上田 克彦 (公益社団法人
日本診療放射線技師会 会長)大会長 村中 良之 (公益社団法人
福井県診療放射線技師会 会長)

主催：公益社団法人 日本診療放射線技師会

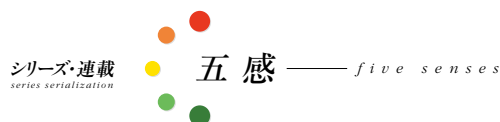
共催：公益社団法人 福井県診療放射線技師会

後援：厚生労働省(予定)、公益社団法人 日本放射線技術学会、
福井県、福井市

大会事務局

公益社団法人福井県診療放射線技師会
〒910-0851 福井県福井市米松1丁目16-31 NTビル2階
E-mail: 41jcrt@gmail.com

新しいスタート

シリーズ連載
series serialization

年の変り目のスタートは1月だが、学校や仕事は4月がスタートである。1月は正月を迎え、清々しい気持ちで1年をこれから迎えるという気持ちでいっぱいである。では、4月はどうか？ 3月は年度末の整理や異動など慌ただしくなり、そして4月になると異動や昇格などで新しいスタートとなるケースがある。子供たちを見ると、3月の卒業式では涙し、お別れがあり、4月の入学式では笑顔で新しい仲間との出会いでスタートする。人生の中でこのような大きな変化の機会が数回

あるのではないだろうか。社会に出て、継続することの難しさや苦勞を感じることもある。しかし、節目となる時期に新しい気持ちでスタートを切るとは重要なことであり、また組織にとっても単なる継続ではなく、改革を意識した運営には必要不可欠なことであると考えます。私も2度目の定年を迎え、次への挑戦に向けて新しいスタートが切ればと願っている。

(文責：中村 泰彦)

診療放射線技師のためのフレッシューズセミナーのお知らせ

INFORMATION

プログラムは、エチケット・マナー・医療安全・感染対策・気管支解剖・胸部撮影基礎（都道府県により違いあり）など、現場ですぐ役立つ知識です。会員・非会員を問いません。

日程と会場については変更される可能性がありますので、詳細は、都道府県技師会までお問い合わせください。

■フレッシューズセミナー開催予定： 茨城 5月11日(日) 和歌山 5月18日(日)

5月・6月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

■消化管造影セミナー : Web開催 2025年6月20日(金)
■エックス線撮影WGハンズオンセミナー : 京都 + Web開催 + オンデマンド配信 2025年6月28日(土)

■告示研修(実技研修)/業務拡大に伴う統一講習会:

本会ホームページの「新着情報・お知らせ」またはJART情報システム(JARTIS)をご参照ください。

[e-ラーニング(ストリーミング方式)]

■告示研修(基礎研修) 2026年3月31日(火)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から告示研修終了まで何度でも視聴いただけます。

■人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針
オンラインセミナー 2027年3月31日(水)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日からセミナー終了まで何度でも視聴いただけます。

※このご案内の公開時に、定員に達して申し込みができない講習会・セミナーがある場合がございますのでご了承ください。

JART求人広告掲載について

INFORMATION

会誌に掲載する診療放射線技師募集の求人広告を随時受け付けております。申込書ならびに募集要項につきましては、本会ホームページ(手続きについて→各種様式→その他)よりダウンロードしてご確認ください。

なお、掲載月の前月5日が掲載申し込みの締め切りとなっております。

事務所
案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。

ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日(7月13日)および年末年始(12月29日～1月3日)は執務致しません。